

参考資料

- 1.策定の経緯
- 2.市民意見募集（パブリック・コメント手続）の
実施結果概要
- 3.福岡市総合計画審議会委員名簿
- 4.成果指標について
- 5.成果指標一覧

参考資料

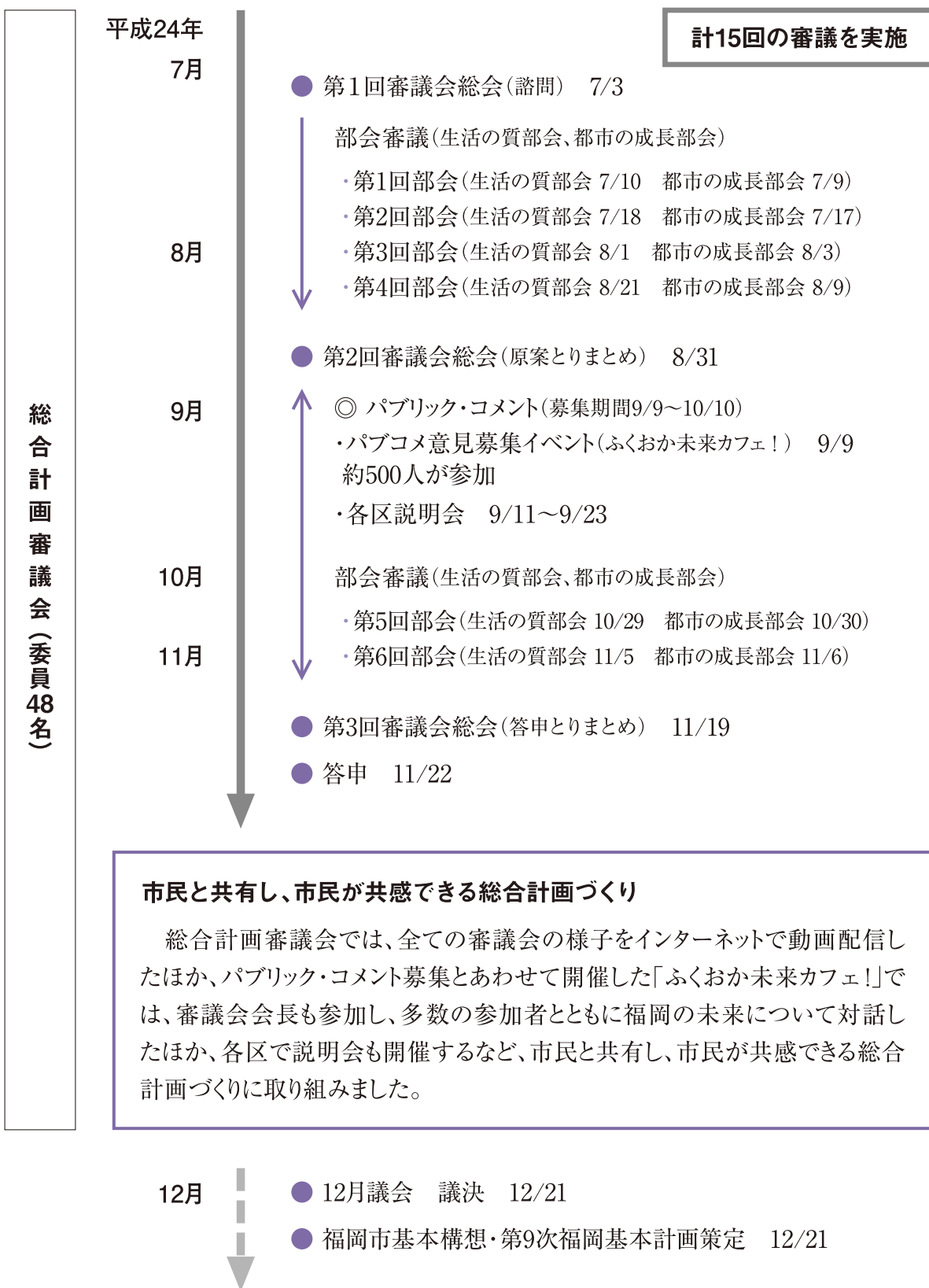
1 策定の経緯

平成23年
5月～9月

新VISION アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト

プロジェクト全体としては、延べ1万人を超える方々に関わっていただき、専用ホームページのアクセス件数は10万アクセスを超えました。

- ・有識者インタビュー 52 人に実施
- ・リレーフォーラム 11 回開催 53 人のゲストが登壇
延べ 1,100 人が参加
- ・市民アンケート 延べ 3,250 人から回答
- ・論文 26 作品
- ・ビジョンカフェ（ワールドカフェ） 市民向け…91 回開催
延べ 1,800 人が参加
市職員向け…18 回開催 約 700 人が参加
- ・団体等からの提言 団体…3 つの提言
市職員…27 の提言 約 400 人が参加
- ・お手紙など 市民…391 件 職員…約 700 件の提案



2 市民意見募集（パブリック・コメント手続）の実施結果概要

(1) 実施の目的

「福岡市総合計画（基本構想・基本計画）」の策定にあたり、福岡市長から諮問された、福岡市総合計画審議会での審議を経てとりまとめを行った計画原案に、市民の意見を反映させるため、パブリック・コメント手続によって意見募集を実施しました。

(2) 実施機関

福岡市総合計画審議会

(3) 意見募集期間

平成24年9月9日（日）～10月10日（水）〔1か月〕

(4) 実施方法

① 計画原案の公表の方法

「福岡市総合計画（基本構想・基本計画）」原案を情報公開室、情報プラザ、各区役所及び企画調整部において配布するとともに、各公民館で閲覧できるようにし、ホームページにも掲載。また、各区において、原案の説明会を実施しました。

② 意見提出の方法

意見提出用紙を原案の配布場所及び閲覧場所に設置し、郵送やFAXなどにより提出いただくとともに、ホームページへの書き込みや電子メールによって意見を受け付けました。

(5) 意見の提出状況

① 意見提出者総数

112通（郵送、FAX等20件、ホームページへの書き込み47件、持参12件、電子メール33件）

② 意見件数

535件

3 福岡市総合計画審議会委員名簿 (敬称略、50音順)

■ 生活の質部会

氏名	役職名等
飯盛 利康	福岡市議会議員
池 勝	部落解放同盟福岡市協議会 書記長
岩永 真一	NPO法人福岡テンジン・ユニバーシティ・ネットワーク 理事長
宇治野 みさゑ	弁護士
江頭 啓介	(社)福岡市医師会 会長
太田 英二	福岡市議会議員
【副会長】 小川 全夫	熊本学園大学社会福祉学部 教授
落石 俊則	福岡市議会議員
尾花 康広	福岡市議会議員
熊谷 知子	福岡市七区男女共同参画協議会 会長
酒匂 純子	西日本新聞社子どもふれあい本部もの知りタイムズ編集部
(副部会長) 定村 俊満	NPO法人FUKUOKAデザインリーグ 副理事長
勢一 智子	西南学院大学法学部法律学科 教授
(部会長) 竹下 輝和	九州大学大学院人間環境学研究院 教授
辰巳 浩	福岡大学工学部 教授
塚原 浩一	国土交通省九州地方整備局 企画部長
中原 義隆	NPO法人福岡市障害者関係団体協議会 理事長
中村 有里	福岡大学経済学部4年生
中山 郁美	福岡市議会議員
福嶋 明子	(株)フワリコミュニケーションズ 代表取締役社長
松田 瑞恵	福岡市PTA協議会 副会長
森田 昌嗣	九州大学大学院芸術工学研究院 教授
結城 勉	福岡市自治協議会等7区会長会代表
吉田 まりえ	九州の暮らし創造研究所 代表

(前委員) 中村 健士

南区自治組織協議会 会長

都市の成長部会

氏名	役職名等
青木 計世	(株)キューデン・エコソル 常務取締役
阿部 真之助	福岡市議会議員
(副部会長) 池内 比呂子	(株)テノ.コーポレーション 代表取締役社長
小俣 郁雄	(株)JTBコミュニケーションズ九州 代表取締役社長
甲斐 敏洋	(社)福岡貿易会 専務理事
小塩 正己	(社)九州経済連合会企画調査部長
後藤 俊介	春日市副市長
後藤 太一	福岡地域戦略推進協議会 事務局長
末松 大和	(社)福岡青年会議所 理事長
高比良 拓児	福岡商工会議所総合企画本部長
出口 敦	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
富永 周行	福岡市議会議員
鍋山 徹	(株)日本政策投資銀行産業調査部 チーフエコノミスト
西村 栄造	福岡県 企画・地域振興部長
福田 まもる	福岡市議会議員
藤野 直人	(株)クロスエイジ 代表取締役社長
古川 清文	福岡市議会議員
(部会長) 星野 裕志	九州大学大学院経済学研究院 教授
水城 四郎	福岡市議会議員
村上 樹人	経済産業省九州経済産業局 国際部長
【会長】 安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
矢田 信浩	連合福岡・福岡地域協議会 副議長
山倉 千賀子	(株)ガンバリオン 代表取締役社長
李 環宇	環日中ビジネスサポート(株) 代表取締役社長

4 成果指標について

(1) 成果指標の意義と役割

成果指標は、施策の成果を把握していくためのもので、各施策の推進によって、10年間でめざしていく数値目標の項目と水準をわかりやすく示すものです。

成果指標の目標値は、行政はもとより、市民、NPO、大学、企業などが共働して達成をめざしていくものです。

(2) 成果指標設定の基本的考え方

①適切な規模、期間

- ・「施策の方向性」をわかりやすく表す“適切な大きさ”の指標項目であることに留意し、事務事業のアウトプット指標や、逆にその施策だけでは達成できないような大きすぎる指標とならないようにしました。
- ・10年間という期間でめざしていくことに適した指標であることに留意しました。

②わかりやすさ

- ・なるべくデータ系の指標の設定に努めることとし、データ系の指標だけでは足りない場合や設定が難しい場合には、アンケート調査等による意識系の指標を設定しました。
- ・専門的な指標はわかりやすく表現し直したり、アンケート調査などによる指標は、内容が端的にわかるよう「～に対する満足度」、「～への評価」等としました。

例：歩車分離率→安全な歩行空間の確保

残留塩素濃度目標→水道水のおいしさ向上度

③継続性、定期性

- ・福岡市、国、県等の行政機関や公的機関の出典データであることに留意しました。
- ・今後も定期的に測定していく予定のデータであることとしました。
- ・現状値が設定できるデータであることとしました。

④その他

- ・一つの施策について、成果指標の設置は1つ～3つとしました。ただし、施策の性質上、適切な成果指標の設置が難しいものについてはこの限りではありません。

(3) 現状値と目標値

① 現状値

- ・ 現状値については、現時点で把握できる最新データの数値または過去数年間の平均数値を設定しました。

② 目標値

- ・ 過去の推移、他都市との比較、関連データなどから目標値を設定しました。
- ・ 目標年次は、2022年とするが、データの出典が数年置きに行われる調査などにより2022年に数値を把握できないものについては、直近の調査年を目標年次としました。
例：経済センサスによる成果指標は2021年を目標年次としました。
- ・ 目標値は、有効数字2桁で端数処理（3桁目を四捨五入）を行うこととしました。また、目標値がアンケート調査によるものについては、5%単位での設定としました。現状値と目標値の差が5%未満のものは、“現状維持”としました。

(4) 成果指標の活用方法

成果指標の評価は、毎年度実施し、基本計画の進捗状況の評価に活用することとし、施策全体の進捗状況の把握や施策を構成する事務事業の拡充、見直し、廃止などについて検討する際の材料とし、市政を効果的に推進していきます。